

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立浜田小学校

校長 松月 雄一

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

浜田小学校では、学校・家庭・地域が連携し、学校づくりビジョンに掲げた『自分の考えを持ち、判断できる子（考える子）』『仲間を大切に、互いに助け合える子（やさしい子）』『めあてを持って、最後までやり通す子（つよい子）』を目指して教育活動の充実を図っています。これまで学校への支援等で協力してくださった保護者や地域の皆様との活動も、より一層継続・発展させてきました。「浜田小学校の応援団」としての学習体験活動支援・学習支援・環境整備ボランティアの募集や運営、また、学校運営の評価をしていただく組織としてコミュニティスクール(学校運営協議会)を位置づけています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

学校運営協議会では、学校教育のさらなる充実を図る組織として、3部会制「環境部会（学校の環境整備推進）」「学習体験活動支援・学習支援部会（児童学習支援）」「地域部会（地域と学校の連携推進）」を設定しています。元・現PTA会長、浜田地区民生委員・児童委員、浜田地区連合自治会長、浜田地区社会福祉協議会長、浜田地区育成会長等を浜田小学校運営協議会委員に委嘱して学校・保護者・地域と連携しています。

「地域の力を学校へ」という考えの中で、学習体験・学習支援と学校の環境整備ボランティアについて学校運営協議会委員長名で、学校をはじめ自治会回覧も活用して募集をしました。多くの保護者や地域の方にご登録していただいています。

(1) 教育活動の実践事例

①学習体験・学習支援ボランティアと学校の環境整備ボランティアの推進

【英語学習支援ボランティア】

英語ボランティアの3人の方々は、授業のサポートをしたりネイティブに近い発音で個別に対応したりして英語の魅力を伝えてくれています。英語に堪能な地域の方や保護者の方が子どもたち一人ひとりへの声を掛けてくれたことで、子どもたちは苦手意識を持つことなくスムーズに英語学習活動をすることができたと思います。



【自然教室御在所岳登山ボランティア】

5年生自然教室で行った御在所岳登山では、東芝山岳会を中心とした方々の山岳ガイド実践レクチャーや実技支援を受け、四日市西警察署署員に安全

確保の協力を得ました。また、保護者・地域ボランティアの皆さんが同行し子どもたちを見守ってくれました。おかげで無事に参加者全員山頂まで登りきり、貴重な登山体験をすることができました。



登山の様子

【学習体験ボランティア（地域の祭りや行事「舞獅子」）】

南浜田地区の獅子舞保存会の皆さんに伝統芸能である「富士の巻狩り」の猪や被り物、衣装、「浜田大山車の舞獅子」を見せてもらいお話も聞かせていただきました。

児童は南浜田公会所へ行き、実際に獅子頭に触れながら地域の祭りについての理解を深めることができました。

児童の中から獅子舞行事に参加をしたいとの声も聞かれました。



被り物

【学習体験ボランティア（素材を生かして「木工」）】

地域の方から製材した木っ端の提供を受け、4年生の図工科「ギョギョクリエーター」で木の素材を活かした工作に取り組みました。木っ端の形、大きさも様々なもの、いくつかの作品例などを用意していただき、子どもたちの発想をより豊かにすることにつながりました。地域の方々がゲストティーチャーに招き、のこぎりの使い方の指導を受けながら、子どもたちは思い思いの作品を仕上げることができました。



【環境整備ボランティア（除草作業）】

学校運営協議会の呼びかけで、運動会の入退場の際に児童が通る運動場と浜田公園出入口の除草作業をしました。

ボランティアの呼びかけに答えてくれた保護者や地域の方が3日間かけてきれいにしてくれました。



除草作業

【その他の支援活動】

小中合同の津波避難訓練（四日市駅西市民広場までの避難訓練）の際の避難安全見守り、地域の方による各学級への読み聞かせ活動、クラブ（茶道、グラウンドゴルフ、和太鼓、手芸）活動支援、登下校の見守り活動など、多くの地域の方々にご支援いただいています。



②地域への貢献活動

【浜田公園除草作業】

浜田公園は、学校に隣接する公園で春には桜の花見や草花観察、秋には虫取りやドングリ拾い、運動会の入場待機場、冬には雪遊びの場、放課後も子どもたちの遊びの場となっています。そのため草取り集会を年に2回しています。



【地域行事への児童参加よびかけ】

桜祭り、地区運動会、社協・自治会行事：そうめん流しと金魚すくい、もちつき
⇒今年度はいずれも中止となりました。

【はまだっ子】の様子を学校だよりやホームページを通して日々伝えています。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

学校運営協議会では、コロナ禍の中での学校の取組をご理解いただき、学校運営に関する支援や次年度の方向性について意見を交換していただきました。委員の皆様からは、「学校公開」・「はまだっ子運動会」・「三四音楽会リハーサル」、そして「6年生を送る会」などさまざまな学校行事や授業参観を通して、「はまだっ子」の姿を見て、具体的な提言をしていただき、学校をよりよくすることにつながっています。

また、学校運営協議会委員長名でボランティアの募集を行い、環境整備ボランティア、学習ボランティア、登山ボランティアなど学校支援ボランティア活動が充実しています。登山やのこぎり使用作業など危険を伴う学習活動がある場合、「声をかけてくれたら学習支援に行くよ、と言ってくれる地域の人がいる」と運営協議会委員に教えてもらい、実際の学習の場で支援していただくことができました。毎日の登下校時には地域の方に見守っていただくことで、児童の安全安心や職員の安全・防災意識を高めることにもつながっています。特に主任児童委員をされている委員のおひとりは、四日市市交通安全指導員も委嘱されてます。他の民生委員にも声をかけ地域をあげて登下校中の子どもたちの見守りを強化していただいています。

3 今後に向けて

学校運営協議会による「学校評価」では、タブレットの授業における活用として子どもたちの興味関心を引く効果的な活用方法の確立が望まれ改善の余地があること、児童が日常の学習・生活習慣において主体的に取り組む環境づくりの見直し、保護者や地域住民への積極的なボランティアの呼びかけ、人とかかわりながら体験学習できる授業づくりなどの提言をいただきました。

また、浜田小学校HPでは「はまだっ子」の日頃の様子を毎日更新していることを地域回覧で周知しました。学校運営協議会の活動紹介についても、学校支援・学習支援ボランティアの拡充

を含めて、その活動の様子を学校だよりやHP等で保護者・地域へ発信し、より充実させていこうと考えています。